※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　外国語科

教科	外国語	科目	母語中国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・外国での母語の勉強なので、忘れつつある母語を思い出させるために、授業では朗読と聞き取り、書く練習をたくさんします。
・現代文、古典をバランスよく取り入れます。長文の読解力を向上させるとともに、作文（感想文）を通して、自分の考えを伝えるための「書く力」をしっかり身につけてもらいます。
・授業中、本文の理解を深めるために、プリントに傍線を引かせたり、メモをさせたりして、復習の時の役に立ってもらいます。
・中国語検定を受けるための練習として、中国語と日本語の双方向翻訳の練習も取り入れます。

２　学習の到達目標

(1) 生まれ育った母語環境がない中で、これまで習得した母語の基礎知識を踏まえ、さらなる高度な運用能力を養成し、母語に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 社会現象や生き方に関連した文章の学習を通じて、考える力をつけさせ、自分の意見が述べられるようにする。
(3) 進学や、就職などに活用できるよう、母語と日本語を双方向に翻訳できる技能を養成する。
(4) 母語学習によるアイデンティティの確立を通じて、自信をもって日本の社会で生きていける強い心が持てることを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙、文法、表現といった基礎知識がしっかり身についていて、文章を書くことと表現することが自由にできるレベルを考察する。	自分の持っている言語文化を確かめながら、その言語を使って異国の言葉や、いろいろな事象について比較して考えさせ、自分の思いや考えを広げたり、深めたりできるレベルを考察する。	授業において、調べる学習や発表を通じて、他者へ伝え、他者に学ぶという姿勢を大事にしつつ、言語感覚を磨くことにより豊かな表現をみんなで共有し、楽しんでいるレベルを考察する。

観点の趣旨に基づいて、各学期の学習状況を観点別に評価し、学年末では通期のまとめとして、5段階評価を行います。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切な割合に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古典の表現方法、伝えたいこと、古文と現在文の表現方法の違いなどを理解する。 ［教材］ 古典 「师旷」	a：古典の時代の歴史的背景と価値観や古典的な表現の意味が理解できている。同じ意味の言葉を違う文字で表現するテクニックとその理由を理解している。 b[読む]：内容をしっかり理解している。 c：文章を正確に朗読ができ、古代と現代の考えの共通点が理解できている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	立場と気持ちを変えていろいろな事象について考えて、理解する。 ［教材］ 現代文読解 「在奥斯维辛死亡营」	a：比喩、例示、直接的な表現と婉曲的な表現について理解している。 b[読む]：筆者と登場人物の立場や気持ちの違いを理解している。文章の裏に潜んでいる内容まで読めている。 c：文章に関することを正しく理解できて、感想を発表できている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	自分の母語と今勉強中の日本語を相互に置き換える技術を身につける。 ［教材］ 「中国語検定過去問」	a：原文（日本語・中国語）の言葉や意味を十分に把握している。 b[書く]：翻訳のテクニックを駆使して、文章をさらに正確に綺麗にまとめている。 c：言葉の表現などに対する理解を深めている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	叙述を的確にとらえる。他者の人生についての考えを客観的な視点から理解し、自分の生き方の糧にする。 ［教材］ 現代文読解 「窗子里窗子外」	a：筆者の生い立ちや、考え方が理解できている。 b[読む]：文章の内容や構成、論理的な展開などをもとに要点を把握することができる。 c：生きている中で「選択」はどんなことなのかについて考えるきっかけになっている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。そして、気持ちを込めて発表する。 ［教材］ なし	a：書く言葉と話し言葉の違いが理解でき、書くときに気を付けている。 b[話す・聞く]：書いた作文を自分の声で正確に人の心をつかむような表現を工夫している。他人の発表に対して、コメントができる。 c：他者と積極的な交流を通じて、互いに刺激しあい、ともに成長している。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
2	文化リサーチを通して、自国の文化を母語で調べて、整理して他者に紹介する。 教材 なし	a：自分の国の伝統文化に使う言葉の意味、内容などを理解している。 b:「話す・聞く」に関しては、調べたものをまとめて、ポスター発表を通して、正確にかつ分かりやすく表現することを工夫することができる。 c:他者の文化に対しても、興味を示している。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	「生きる」と「死ぬ」について、その関連性を哲学的な視点から理解する。 ［教材］ エッセイ 「我与地坛」	a：現代の名作としての筆者の表現の特徴を読み取れている。 b[読む]：「生と死」について、深く美しく悲しく描いている箇所を読み取れている。それについて自分なりに考えを深めている。 c：エッセイを読むことに興味を持ち、文中の哲理的な表現を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	古典の表現方法と伝えたいことや、古典と現代の言葉の意味との違いを理解する。	a：その時代の背景や人物の特徴をつかんでいる。古典的な表現の意味が理解できている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 古典 「隆中対」	b[読む　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などをもとにその思想要点を把握することができる。 c：文章を正確に朗読ができ、古代と現代の考えの共通点と相違点が理解できている。			宿題
	翻訳。自分の母語と今勉強中の日本語を互いに置き換える技術を身につける。 ［教材］ 「中国語検定過去問」	a：原文（日本語・中国語）の言葉や意味を十分に把握している。 b[書く]：翻訳のテクニックを使って、文章をより正確に綺麗にまとめている。 c：言葉の表現などに対する理解を深めている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
3	100 年前の文章の表現や言葉の意味を確認し、具体と抽象表現を理解し、文章の要点を的確につかめる。 ［教材］ 現代文 「为了忘却的纪念」	a：筆者の表現の特色を把握し、筆者の生い立ちや、考え方が理解できている。 b[読む]：文章の内容や構成、論理的な展開などをもとに要点を把握することができる。筆者は何を伝えようとしているかを正確に理解できている。 c：エッセイを読むことに興味を持ち、文中の強い気持ちを表現しているところを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題
	翻訳。自分の母語と今勉強中の日本語を互いに置き換える技術を身につける。 ［教材］ 「中国語検定過去問」	a：原文（日本語・中国語）の言葉や意味を十分に把握している。 b[書く]：翻訳のテクニックを使って、文章をより正確に綺麗にまとめている。 c：言葉の表現などに対する理解を深めている。	定期考査	定期考査 プレゼン	小テスト プレゼン 宿題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　20　　)時間

・書くこと　…　(　　20　　)時間

・読むこと　…　(　　30　　)時間